

### (3) 社会教育施設における実践例 -みやまあかねリサーチプロジェクト- 兵庫県立人と自然の博物館

#### ひとはく「リサーチプロジェクト」について

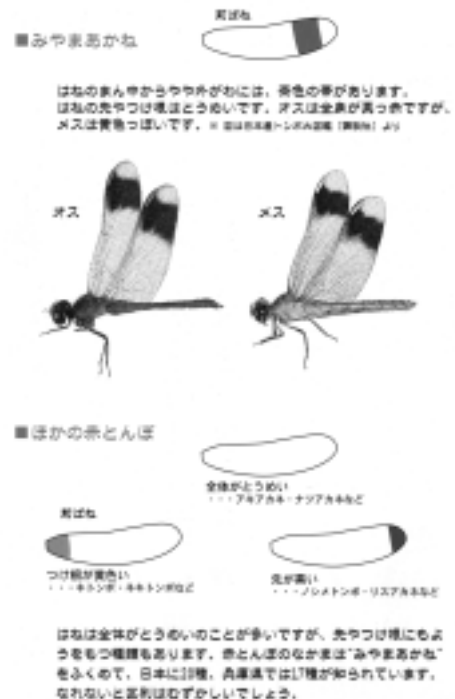
県立人と自然の博物館（愛称「ひとはく」）では、「ひとはくに来れば兵庫県の環境の全てがわかる」を目指し、自然・環境情報の収集・整理と公開をすすめています。「リサーチプロジェクト」はそれをさらに一歩進め、県民のみなさんと博物館の研究員がいっしょに、自然や文化に関するさまざまなテーマの研究を行うものです。

リサーチのテーマや項目、期間、これまでの結果などは下記ホームページをごらんください。

ひとはくのホームページ=<http://hitohaku.jp>

#### みやまあかねリサーチプロジェクト

ミヤマアカネは、日本で一番美しいといわれる赤とんぼの仲間、昔は山あいの田んぼにたくさんいて、人々に親しまれていましたが、近年急速に減っているといわれています。減ったといわれるミヤマアカネが、今、「どんな地域にどれくらい棲息するのか」を明らかにするため、2002年度「みやまあかねリサーチプロジェクト」を始め、調査を呼びかけました。



#### 調査を呼びかける広報手段

博物館の来館者にパンフレットを配布するほか、さまざまな機関にご協力いただきました。

- ①新聞各社による報道
  - 神戸新聞（10/4全県版）
  - 読売新聞（10/5三田版）
  - 朝日新聞（10/8三田版、10/9阪神・神戸版、10/10淡路・但馬版）
- ②「キャラバン事業\*」参画団体への広報
- ③「ひとはくセミナー倶楽部\*\*」メンバーへの広報
- ④県民局、他の県立環境学習施設へのパンフレット送付

〈ミヤマアカネとほかのアカトンボの違い〉

\*キャラバン事業：ひとはくは、地域のみなさんとの協働により、2002年5月～10月に県内10地域で出張展示やセミナーを行いました。

\*\*ひとはくセミナー倶楽部：登録料、会費無料。ひとはくのセミナー受講時に登録できます。登録者は、直接ひとはく情報を入手できる代わりに、アンケート調査等にご協力いただきます。

〈情報募集葉書〉  
 パンフレットに掲載。  
 切り取り可。ホームページにも同様の調査用紙が掲載され、直接入力・送信できるようになっています。



〈朝日新聞記事〉

### 情報の概要

- ①情報募集日時 2002年10月1日～31日
- ②情報提供件数 のべ174件 (うち「見つけた」140件)
- ③情報提供者数 113名 (4～81歳 平均42.7歳 男女比＝2：1)
- ④情報提供手段  
 専用葉書 29 インターネット 28 電話 26 FAX 15 など

### 調査結果—みやまあかねの棲息状況

淡路島以外の全県域から「見つけた」情報があり、県内各地でまだまだ棲息していることがわかりました。ただ、「昔より今の方がたくさんいる」という情報はなかったので、少なくともはなってきたようです。

市町別には、宝塚市、西宮市が圧倒的に多く、2市に芦屋市、神戸市北区を合わせると、全情報の過半数です。これらはすべて六甲山周辺で、特に逆瀬川、仁川など「六甲山から流出する河川」にたくさん分布していました。

一方、分布情報が乏しい地域は、淡路島、三田盆地から丹波にかけてと、播磨平野でした。

なお、幅広い広報の結果、プロジェクトの情報は淡路島を含めほぼ全県下満遍なく行き渡っており、情報がなかった地域は、本当にその地域で見る機会が少なかったと考えられます。

### 調査結果からわかったこと

今回のリサーチでは、新聞記事を見て連絡をくださった方が多く、住居や職場の近くの情報が中心でした。つまり、単純に「ミヤマアカネがいたところ」ではなく、「人とミヤマアカネが共存しているところ」を示す地図ができました。

ミヤマアカネは、かつて「山あいの田んぼ」にたくさんいたそうですが、今回の情報は「川」「川の近く」がほとんどでした。そのことから以下のことが想定されます。

- ① 近年、「山あいの田んぼ」は耕作されなくなってきています。耕作放棄された田んぼがミヤマアカネの生息環境に適さない、もしくは日常生活の中で人が「山あいの田んぼ」に近づかなくなった、近づけなくなったことが考えられます。

- ② 六甲山では、山の中腹近くまで住宅地となっており、また多くの人ハイキングに訪れることから、六甲山が「人々にとっての身近な自然」となっており、人々がミヤマアカネの生息地に近づく機会が多いと言えます。
- ③ 「川のトンボ」となったミヤマアカネですが、平野部に少ないので、「山あいのせせらぎのような川」が好きなようです。自然の豊かな川に棲む昆虫の代表（指標）といわれるゲンジボタルの棲息地とは一致していません。



〈みやまあかね分布図〉

### 情報提供者の感想（一部抜粋）

- ・新聞で知るまでは普通のトンボと思っていました。注意してみるとよく飛んでいます。子ども達にホームページにのるかもと話す「僕達も一緒に見つけたのに」と残念だったので、子どもの名前も載せてあげてください。たくさんいるので、一度調査にいらして下さい。



### 成果とこれから

リサーチでは、県下幅広い広報ができ、短期間で全県的な分布の概要を把握、公開できました。ただ、生物種の区別は一般の方には時にたいへん難しく、明らかに他のトンボとわかる情報もいくつかありました。おそらく「みつけた」情報の中にはミヤマアカネ以外の情報もかなり含まれているでしょう。しかし、「私にとってのミヤマアカネ」も重要な情報であり、平仮名の「みやまあかね」には、そういう思いも込められています。

「ひとはく」では、2003年度も引き続き、「みやまあかねリサーチプロジェクト」をはじめ、多くのテーマでのリサーチを実施します。指導者向けの現地説明会なども開催するほか、ご要望に応じて研究員が地域に出向き、みなさんといっしょにリサーチを進めてゆければと思います。

リサーチプロジェクトをきっかけに、みなさんが地域の自然・環境・文化のすばらしさを再発見し、大切にすることを「ひとはく」は願っています。

お問い合わせ先 兵庫県立人と自然の博物館（愛称「ひとはく」）  
〒669-1546 三田市弥生が丘6 TEL 0795-59-2001 FAX 0795-59-2007